

STAFF メッセージ

ケア課 3階 介護福祉士 主任 住吉 星矢

私は2015年にケアセンター山の手に入職しました。障がい者支援施設が初めてという事もあり、不安や葛藤もありましたが職員や利用者様にたくさん支えられ、気づけばもうすぐ11年目を迎えます。利用者様の笑顔をさらに増やす事が出来る様に、初心を忘れずに改めて頑張っ



自立 367号

発行日：令和8年8月
発行・編集：社会福祉法人 禎心会
ケアセンター山の手 機関誌編集委員会
〒063-0009 札幌市西区山の手433番地1
TEL:011-642-1152 FAX:011-642-1278

にゅうしょう

入賞 おめでどうございます！



今年5月に開催された札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック）のアーチェリー部門で生活介護利用の多田正法さん（写真上）が、50m走とジャベリックスローに出場された加藤聖悠さん（写真下）がそれぞれ入賞されました！！

今回は多田さんにお話を伺いました。多田さんがアーチェリーを始めたのは2024年。時間を有効に使いたい、何かスポーツをやりたい、という気持ちからでした。活動ができる場所を自分で探して、健常者でも障がい者でも取り組めるアーチェリーにしようと、札幌市身体障害者福祉センターのアーチェリー教室に通い始めました。昨年も「すずらんピックに出場しないか？」と声をかけられましたが、まだ自信がないということで断念。今年は練習を重ねて挑みました。

「障害者福祉センターでは水泳やテニス、バスケなどいろいろな競技が練習できます。障がいがあってもスポーツを楽しむことができる。自分もやってみて初めて前向きになれたような気がします。ぜひみなさんにも楽しんでもらいたと思います」と多田さん。最終目標は「パラリンピックで最年長優勝を果たしたい！」。そう語る多田さんの笑顔の中に強い意思を感じました。加藤さんも今後は「はまなすマラソン」「フライングディスク大会」に出場予定です。



リハビリ室の午後開放を 始めました！



リハビリ科では6月よりリハビリ室の午後開放を始めました！
入浴で午前中のリハビリの時間が十分に確保出来ない方などが来られ、運動しています。皆様真剣に取り組まれています！



わたしたちにまかせて！



機関紙「自立」は、利用者さんが「心を込めて」折込作業をしてくれています。

新入職員紹介

ケア課3階 介護福祉士 吉岡 利奈
はじめまして、4月より3階で勤務しております。吉岡と申します。新しい環境にまだ緊張しておりますが、毎日少しずつでることが増えていくのが嬉しいです。笑顔を大切にしながら一つ一つの仕事を丁寧に行い、皆様との関わりを通して共に成長していきたいと考えています。よろしくお願いします。



 社会福祉法人 禎心会

